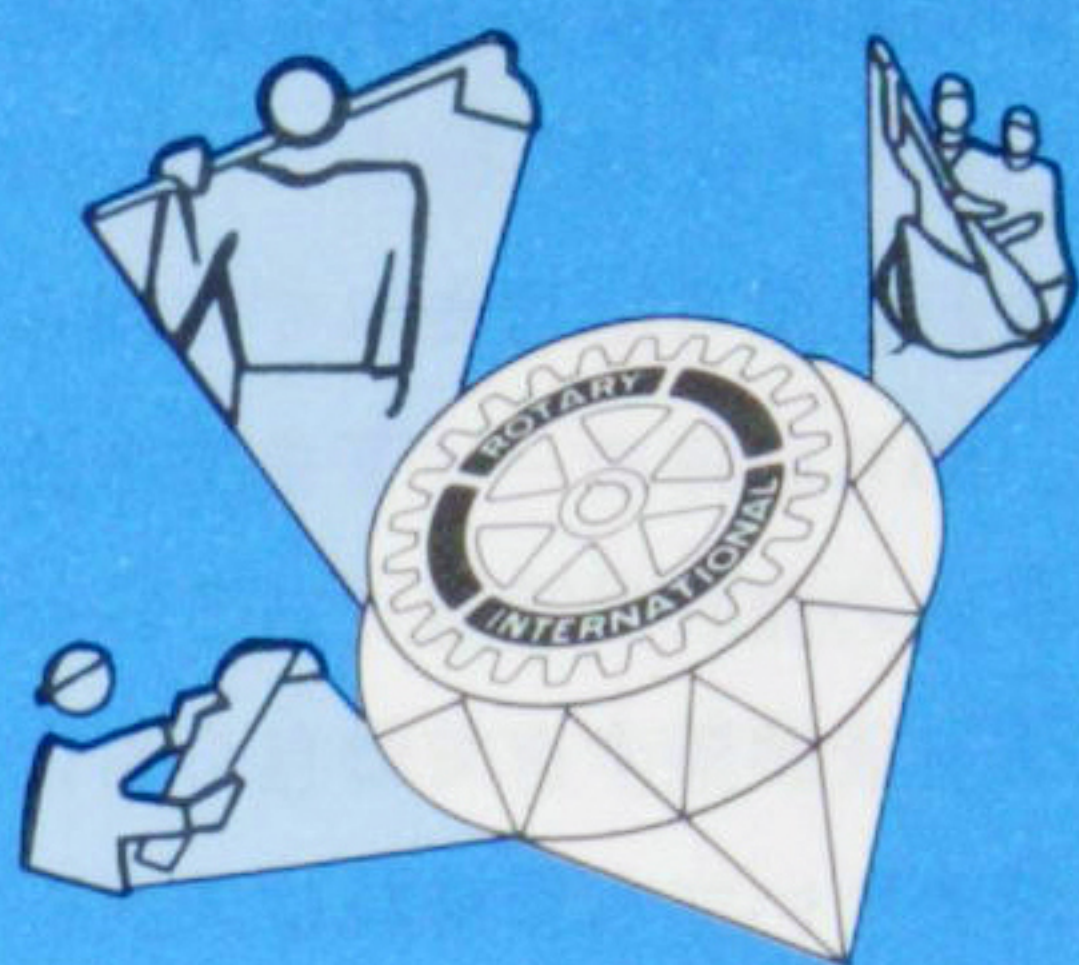


ENJOY ROTARY!



ロータリーを 楽しもう!



1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ● 第256地区ガバナー 吉野 一郎
- 会長 — 小林 英雄 ● 副会長 — 小林九満太 ● 幹事 — 五十嵐昭一
- SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30~
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替えます)

- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

| | |
|-----------|--|
| 出席会員数 | 会員 74名中 61名 |
| 先々週出席率 | 87.50% (前年同期 92.31%) |
| 今日のお花 | カンガルポー、アネモネ |
| ヴィジター | 三条南より 永桶栄資君、佐藤秀夫君 三条北より 米山忠俊君 加茂より 野本正次君 |
| 先週のメイクアップ | 12/8 吉田へ 渡辺喜彦君 12/8 ガバナー研究会へ 藤田説量君 12/11 三条南へ 藤田紘一君、斎藤弘文君、外山雅也君、五十嵐晋三君 12/12 三条北へ 広瀬昌寿君、野村竹三郎君、山本福七君、近藤雄介君、五十嵐総一君、渋谷正一君、渋谷健一君、大谷幸平君、広岡豊作君 |

会長挨拶 小林(英)会長

二宮尊徳というと、小学校の庭などに建っている、薪を背負い、本を開いて読みながら歩いている二宮金次郎の像を思い出す。二宮尊徳とロータリーという取合せはいかにも馴

染まない感じである。しかし日本に於けるロータリーの創始者、米山梅吉さんは、そのスピーチにしばしば尊徳の言行を引用した。

有名なのは水車の話である。水車はドップリ水の流れに浸ってしまっても回らない。又、逆に水から離れてしまっても回らない。適当な深さ、即ち心棒の一寸下まで水流に入れられた時最もよく回転する。水車の回転は人生である。水の流れは欲望である。そして水の上に出た部分が逆に回転するのは他人への奉仕である。欲が深すぎるとは自分も亡び他人にも尽せない。逆に欲がなさすぎて他人のためばかり考えていても、それは成立しないことである。翁はこれを「欲を持って働き、欲を制して世の中の為を想え」とも教えている。尊徳の思想が滅私奉公ではなく、自他共栄である点でロータリーにぴったりであることに驚く。

前原PGの「ロータリーと二宮尊徳」の一節を紹介しました。ロータリーがよく理解出来ます。ご一読をすすめます。

幹事報告 五十嵐(昭)幹事

・例会変更のお知らせ

燕RC——12月21日(木) 家族クリスマスパーティー PM6:30~ 於 明治屋

1月4日(木) 新年につき休会

見附RC——12月14日(木) 忘年会 PM6:30~ 於 太田家

吉田RC——12月29日(金) 年末につき休会



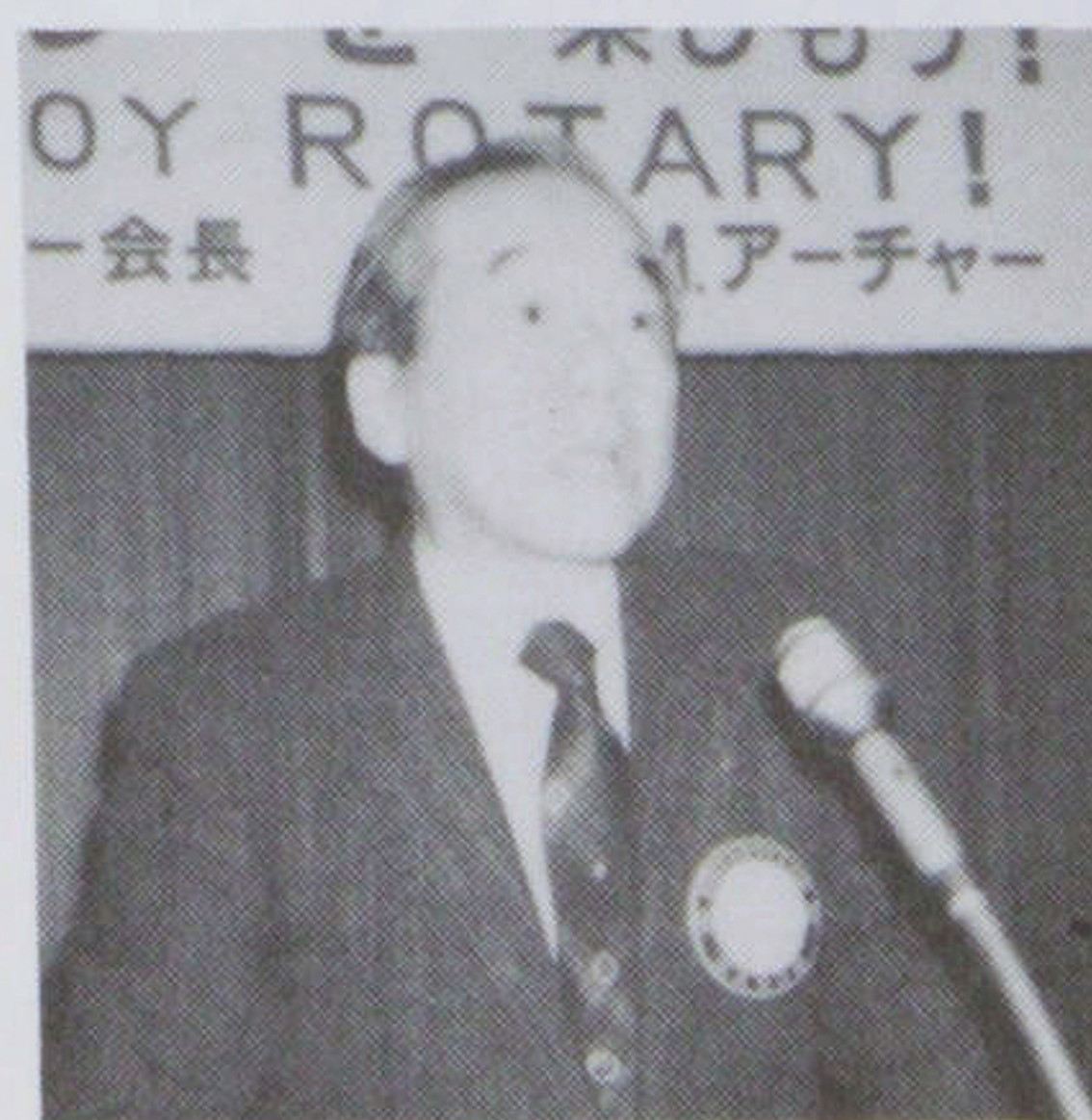
3回目のポール・ハリス
フェローとして、マルテ
プロフェロー受章

ニコニコボックス ¥22,000

- 渡辺(宏)君 先週の総会で1991~92年度の会長ノミニーにご推挙頂きました。身に余る光栄に思っております。不束者です。皆様のご支援をお願い致します。
- 小林(敬)君 県央30都市づくり運動のことでNHKテレビの取材を受けました。この運動もお陰様で世間で認知されて参りました。ありがとうございます。
- 小林(英)君 12日夜、ローターアクトと三条餅組合による長久の家餅つき大会、ご参加の会員の皆様、ご苦労さまでした。
- 池田君 ロータリーを楽しもう、へたな卓話をお楽しみ下さい。
- 堀川君 三条ロイヤルホテルとして地場産センターにレストランをホテルのフロント機能をもたせて進出させていただくことになりました。よろしくお願ひします。
- 藤田(説)君 しばらく家出をしていましたので
- 広岡君 先週ホームクラブ欠席しましたが、誕生祝のケーキを届けて頂きまして有難うございました。
- 渡辺(喜)君 大変永い間ホームクラブを欠席させていただきました。又、一生けん命やらせていただきますことを誓うとともに、過日5日に父が満70歳の誕生日を無事迎えましたこと。そして両親が今年結婚50周年を迎えさせていただきます。お礼に協力させていただきます。
- 佐藤君 パルム二階にチャリティー展を開いておりますが、どうぞおいでになって一枚買って下さい。
- 須田君 2回ほど休んでしまいました。申し訳ありません。
- 広瀬君 都合で早退させていただきます。

卓話 「高齢者問題について」

池田俊一 会員



広辞苑をひきますと、初老というところに40歳のことと
のっています。昔といわず、つい最近までは60が老人で
した。戦前の日本では、65歳以上の老人は、全人口の4~6
%、昭和62年の調査では11%、これが30年後には24%にな
り、4人に1人が高齢者になります。人生50年が昔話にな
り、平均寿命が80歳にもなったということは、例えば、50
cmのゴム紐に幼年期、少年期、青年期、壮年期、老年期と

区切りの印をつけておいて、それを80cmの長さに伸ばしたようなものではありません。老年期だけが伸びたことであります。

高齢者の問題には色々ありますが、高齢者の生きがいが、一番大きな問題があります。最近の日本医師会会報にこの問題について討議されたことがのっています。老年期になると、多かれ少なかれ、又は、おそかれはやかれ、大きく失うものが4つあります。

(1) 心身の喪失、(2) 経済的基盤の喪失、(3) 社会的なつながりの喪失、(4) 生きる目的の喪失であります。

老人は獲得したものよりも、失ったものの方に目を向けて、その喪失感に因われる傾向があります。この喪失感をなくして、生きる勇気を奮い立たせる感情を、生きがいと呼びます。誰でも、年をとっても、目の色を変えて働けるもの、熱中できるものがあれば一番いいのです。一流企業の社長、国会議員をご覧下さい。皆さん熱中できるものを、それぞれもっています。

年をとることは、可能性を一つづつ消してゆくことだといわれます。人間の脳の細胞は胎児の間に分裂をおわります。その数は約140億で、生きている間はどんどん減ってゆきます。大体30歳代位から減り始めて、90歳では20歳位の半分位に減ってゆくといわれます。一日に10万個の脳細胞が壊れてしまうといわれます。

ここで2、3の有名人の健康哲学みたいなものを披露してみます。御木本幸吉は、真珠王としてだけでなく、長寿者としても有名です。生前、食事については、朝食は3、昼食は2、夕食は1の割合が最も良いと言っています。

フランスの文学者アンドレジードの言っているところの美しく老いる為の7ヶ条というのがあります。

(1) 老いるマナーを貯えること、(2) 健康を保つこと、(3) 老勉すべし、(4) 老働すべし (5) 老性を楽しむべし、(6) 若い異性の友達をもちなさい、(7) おしゃれをしない、以上であります。

日本人でも画家の梅原竜三郎は40歳過ぎてから、毎晩詰め将棋を一問づつ解いてから寝たというし、ハワイ真珠湾攻撃の参議院議員源田実は夜寝る前に高等数学を一問解いてから寝たといっています。

会員の方々も、明日とはいわずに、今日からでも実行してみたいはいかがでしょうか。全部やらなくても、この中の一つか二つでも試みてみたら、すぐにその日から、快適な人生が約束されるのではないのでしょうか。

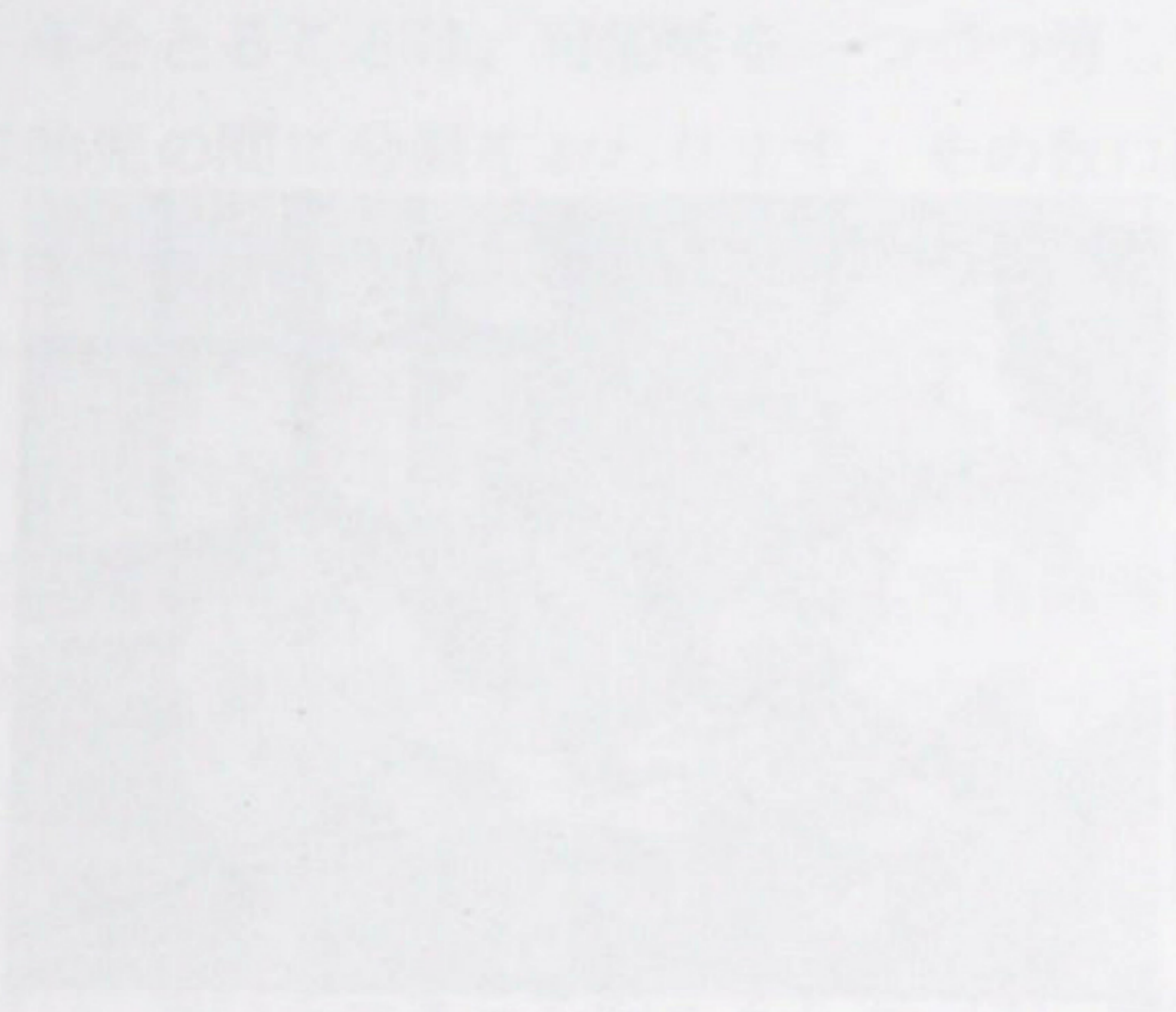
「人生には上り坂、下り坂がありますが、このほかに「まさか」という坂もあることを肝に銘じてください」

ローターアクト主催による 長久の家もちつき大会に参加(平成元年12月12日)

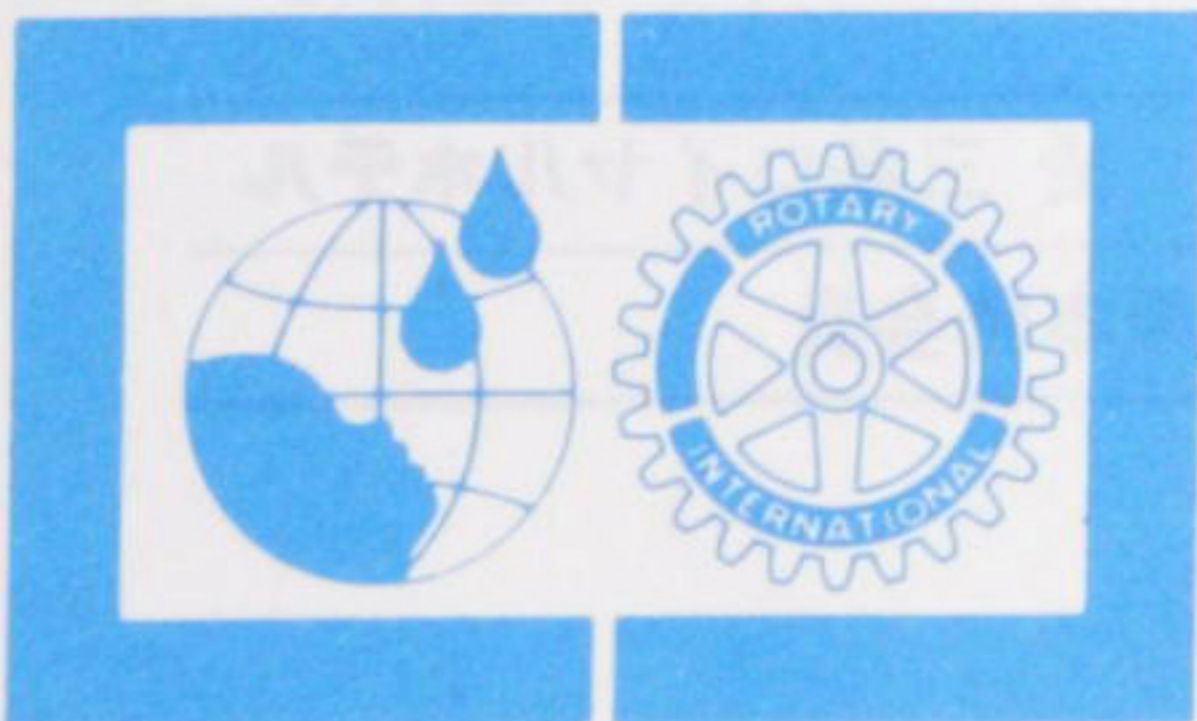


次週例会 12月20日 忘年会 PM6:30~ 於 三条ロイヤルホテル
次々週例会 12月27日 卓話 佐野勝栄会員、榎本勝会員

2000年10月1日より、WHOが定める「ポリオフリー」の国として認定された。これは、WHOが定める「ポリオフリー」の国として認定された。これは、WHOが定める「ポリオフリー」の国として認定された。



PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を”